

岩高短歌

くワタシタチノウタ

月間優秀作品

R元④

全校生徒が作った歌の中から、優れたものを紹介します。七・八月のお題は、「夏のもの」・「体育祭」・「透明」です。

月間賞

伸ばしても求めるものに触れられず握る手の上に慰めの雨

三―二 佐藤

優希

第二席

君と見る海の向こうの青空もシャーベットみたく溶けてしまいソーダ二―二 佐々木芹奈  
ビー玉を透かしてみれば映るかな朝露朝顔貴方の笑顔 二―三 千葉みずき

第三席

透明なビー玉空に透かしたら未来の自分見えてくるかな 一―三 遊佐 茉星

優良賞

カランコロン下駄の音して振り返れば隣に咲いた一輪の花 二―一 菊地 茉帆  
揺れる火に線香花火をつける君ソワソワしている愛しい横顔 二―一 濱田 優菜  
青空に響く音色を奏でては飛んで落ちるよ蝉の晩夏は 二―一 横山 堇  
体育館にいつもと違った皆がいて応援の声が天まで届く 二―三 沖田 希望  
夏の花ひまわり畑の花言葉「あなただけを見つめている」 二―三 及川紗理奈  
夏祭り打上花火ゆがみだす一瞬だけのあざやかな大輪 一―三 伊藤 麗

佳作

エアコンのリモコンなくして風もこん。父め、どこへやった募る怨恨 三―一 紺野 雛音  
午後八時携帯見つめ返事待ち君とお祭り行けますように 三―一 武田 梨子  
六人でつなぐボール一つになり三年間で最後の一点 三―二 鈴木奈津実  
おみやげで貰って見入った星の砂カラカラ音する小さな小瓶 三―二 鈴木 梨奈  
新緑に「夏が来たぞ」と蝉の声空に透かしてみる硝子玉 三―三 高橋 響人  
砂に並び作った足跡なぞりつつ見上げた雲がハートに見える 二―二 佐々木史穂乃  
炎天下同じ瞬間永遠に一度しかない八月の夢 二―二 佐々木芹奈  
空に咲くきらめく花が輝いてあわい思いも火花とともに 一―二 佐藤 里桜  
湖に映り出すのは満月の波が揺れては涼しげな風 一―二 廣瀬 亜美  
君の顔花火に照らされかがやいてみとれてしまう夏の一瞬 一―三 佐々木涼花

